

宇津峰

発行者
校長 佐藤健夫

卒業に向けて ～卒業式全体練習～



3年生は卒業まで、残すところ二週間あまりとなりました。県立高校Ⅱ期選抜試験までは、一週間です。体調管理には十分に気をつけて、残り少ない中学校生活を悔いのないよう過ごしてほしいと思います。頑張れ！ 3年生！

さて、三年間学んだ校舎とも間もなくお別れです。友達、先生方とともに過ごした様々な思い出がよみがえってくると思います。1・2年生も同様にこれまでお世話になった3年生との思い出が昨日の様によみがえってくると思います。

卒業式にはこれまでのすべてに感謝し、それを形として表してほしいと思います。語り尽くせない感謝の気持ちを、この儀式的行事である卒業式でしっかりした形にして欲しいです。そして未来への希望をしっかり持って、新たなステージへ立つという決意を表して欲しいと思います。小塩江中学校で、喜びや苦しみをともにして生活してきたことの一区切りですが、単に、学級・学年だけではなく、地域社会の一員としての連帯感、さらには日本という国における、国民としての自覚を深めていく行事でもあります。その決意と希望と感謝の気持ちを形として立派な卒業式で見せて欲しいと思います。



卒業生代表答辞の練習をする大河内さん



記念品を受け取る練習の近藤くん



記念品を受け取る練習の渡邊さん

小中卓球教室を開きました。



「みんな中学校で卓球一緒にやろうね」



「小学生のみんな、卓球上手だね。安心できないわ」

2月22日（水）放課後、卓球部が小塩江小学校へ行き、卓球教室を行ってきました。卓球教室といっても、今回は卓球部の紹介を兼ね、卓球に親しんでもらおうと小学校さんの方へ足を運び、小学生と一緒に卓球をし、楽しむことができました。

生徒総会

2月27日（月）5校時



今年度第2回目の生徒会総会を実施しました。

3年生のリーダーシップのもとに全員で素晴らしい小塩江中学校を作っていこうと5月の生徒会総会で話し合いをしました。今回はこれまでの活動を総括し、より良い小塩江中学校をつくるために、反省点や改善点、様々な意見を出し合いました。こういった学校生活の積み重ねが新たな伝統を作っていくこと。それぞれのリーダーが、全員が自覚と責任をもって活動し、小塩江中の伝統を作っていくこと。それができたかどうか、全員で確認する場となりました。



みんな緊張しながらも質疑応答



「質問します」



全員で承認します

表彰関係

- ユネスコ寺子屋運動「感謝状」 代表 吉田くん
- 第32回ユネスコ平和作文 優秀賞 大河内さん
- 福島県書きぞめ展 特選 4名 代表 海野くん
- 金賞 9名
- 銀賞 13名
- 実用英語検定 4級 佐久間くん
- 5級 熊田くん、塩田くん、吉田さん